



おはようロスアンゼルス

倫理研究所U. S. A. 南カリフォルニア倫理の会

12月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

Fax: (310) 323-6737

2015年(平成27年) 12月1日(火)

NO. 171

陰の立役者

ラグビーの大学選手権六度の優勝を誇る関東学院大学が、初めて大学日本一になった時、会場の国立競技場は、大雪により試合開催が困難な状況にありました。

しかし、決勝戦当日の早朝、補欠の四年生が中心となり、競技場の雪かきをして、決勝の舞台を整えました。無事に試合は開催され、雪かきの先頭に立った部員は「ぼくたち、四年間で初めてチームの役にたったな」と呟きました。

試合に出場する選手と、それをサポートするすべての部員が、それぞれの立場で持てる力を発揮し、掴んだ日本の栄冠だったのです。職場においても、多くの人とのかわりの中で、一つの仕事有成り立っています。その中には、表に立つ働きもあれば、陰で支える仕事もあります。

「職業に貴賤なし」といわれるように、世の中に無駄な仕事は一つありません。どのような役割でも喜んで、できることに精一杯取り組んだ時、連帯感の中で、最高の仕事ができるのでしょ。

務める役割の大小にかかわらず、誰もがその仕事の立役者なのです。

自分の役割に誇りを持ちましょう

(『職場の教養』九月十七日より)

奥本洋子さんを偲ぶ

奥本洋子さんが十月二十三日に亡くなりました。八十三歳でいらつしやいました。

ご葬儀は十一月七日(土) ガーデナ仏教会で行われました。

この日は本部から伏木久登部長が出張中で、部長もご葬儀に参列され、弔辞を読まれました。

奥本洋子さんはご主人の敏明さんを助けて倫理運動を一所懸命努めておられました。三十五年前、敏明さんがガーデナ会場を開き、分会場長として自宅を開放し朝の集いをしておられた頃は、一利他が先と信じる父に従って笑顔で倫理運営の世話を全部していた母です。と洋子さんの苦労を娘の真里子さんが話していました。

奥本ご夫妻には倫理研究所本部の人たちは、アメリカへ来るたびにひとかたならぬ

お世話を受けた、と弔辞で伏木先生は述べられました。

洋子さんはしきなみ短歌会ロス支苑開設当初からの短歌会員でした。十年以上も前に脳梗塞を患い、ご主人に介護を頼るほど体がご不自由でしたが『しきなみ』誌に投稿を欠かしてませんでした。明るいお歌でした。

うかららと雑煮で祝う元日の朝日輝く年のしあわせ二〇一二年には「うずたま集」に昇格され、投稿を続けられました。二〇一四年の、しきなみ短歌会南カリフォルニア支苑開設三十周年記念には矢口裕司先生から「一貫不退」の色紙を頂かれました。

倫理に尽くし、出歩くことの出来ない不自由な体で庭の自然を詠み、家族の幸せを詠んで明るく暮らした洋子さんのご葬儀に、研究所本部代表の伏木先生のご出張が重なり弔辞を頂けたのは「見事な死生を貫いた人である」を教えてください。

明るく暮らすこと、続けることの大切さを教えてくれた奥本洋子さん。ありがとうございます。安らかに眠り下さい

実践報告

働きは最上の喜び

四班 川田末子

補修校の分校校長職を任期満了し、教師に戻り教壇にたつことになりました。

分校長は、学校の運営に当たりますから、仕事がつぱいあり、一週間の費やしてしまいました。学校運営の責任者ですから、子どもたちとの直接の触れ合いはあまりありませんでした。

教師の仕事に戻り、時間と気持ちに余裕ができてきました。そして、素晴らしい発見がありました。愛情を持って指導すれば、子供たちは素直に吸収してくれます。それを直接感じられる喜び。これこそが教師の仕事の醍醐味なのだと思います。

倫理の第十一条「働きは最上の喜び」とはこのことをいうのだと理解できました。これからも子どもたちの幸せを願い、教師として努めてまいります。

.....

倫理カレンダーは六ドルです。班長さんからお求めください。

おめでとうございます

『しきなみ』十一月号

群螢集(西東京・海外)

二席 ホン史子

沙漠の風受けつつ見上げる青空に一瞬沸き
て消える白雲

真砂集(西東京・海外)

入選 摺木洋子

青泉集(西東京・海外)

入選 飯田 隆

入選 尾崎よしみ

『しきなみ』十月号

青泉集(西東京・海外)

入選 森田のりえ

(掲載もれでした。お詫びして訂正致します)

『秋津書道』十一月号

競書

五席 梅本豊造 高等部 (東京)

入選 長谷川公子 々 々

入選 堀井幸江 々 々

入選 立川宏子 一般部(東京) 草書

入選 脇山由希 々 々 行書

八席 香山幸子 々 々 楷書

入選 井上郷子 々 々 々

調和体

二席 咲田静子 高等部



【2席】 南カリフォルニア 咲田 静子

秋津書道展示作品

今年も一ヶ月を残すのみとなりました。一年を振り返りながら、オフィスの秋津書道作品をゆつくり鑑賞してみませんか。我が支苑は書道上手が多いのです。書道鑑賞で師走に心のゆとりをもちましょう。

しきなみ短歌

アメリカで県人会のバーベキューお国なまりで話はずむ 飯田隆
ハレアカラ雲の上よりご来光仰ぎ見るうから身動きもせず 梅本豊造
今今か御来光待つハレアカラ高度三千肌刺す冷気 梅本和子
朝なさなすずめの食むも憎からず届かぬ高枝の熟れし無花果 門園美枝子

「二十周年記念誌」作りに携る身を喜べり編集好きは
異土に住み覚悟は常にあるものの兄の訃報に崩れる心棒 松永典子
コーヒーの香りと眠さがブレンドしゆつくり目覚める朝のひとつき 尾崎よしみ
学校の帰りに手と手を合わせうたきの神に祈りし幼な日 与那覇寛雄
聞き辛い受話器の先のこもり声今日は始めて話すという君 森田のりえ
俳句詠む友と海辺を語りゆく風や光とたわむれながら 草野律子
短歌作りどんな時にも冷静に客観視する気持をくれる 摺木洋子
さつきまで鳴り響いてた雷はいつしか消えて真夏の日の差す 松元依子
かろうじて運転免許のテストパス夫との乾杯日本酒「酔心」 滝川歌子
露草は庭に芽ばえて青き花かれんに開く夏のおわりに 奥本洋子
夏はきぬ加州は干ばつ節水と庭の芝生は茶褐色と化す 杉野和子
息を吸いゆつくりと吐く太極拳指の先まで靈気みなぎる 長谷川公子
夏野菜をオイルで炒めイタリアン命あふれて鍋に輝く 塩出笑子
結束を高らかに唱え盛り上げるミセスオバマの開会宣言 伊澤潤子
突き上げる揺れを身体は覚えてる四年を過ぎしあの日の大地震 矢口裕司